

講座

28

縄文文化と弥生文化を比較する

オンライン併用

【会場定員】150名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円

『エクセレント』 エクセレントⅡ 【時間】 毎回 13時30分 ～ 15時00分 (計12回)

概要

縄文文化と弥生文化はどこがどのように違っているのでしょうか。この講義では、世界遺産になった縄文時代の遺跡や吉野ヶ里遺跡など弥生時代の代表的な遺跡を紹介しつつ、食生活や儀礼に焦点をあてて両者を比較します。日本人の遠い祖先に会いに行きましょう。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/7(金)	新百合 21ビルB2 多目的 ホール	ガイダンス –縄文文化と弥生文化研究の最前線–	東京大学名誉教授 設楽 博己
2	5/12(金)		世界遺産の縄文遺跡 –ムラの姿– **遠隔講義	東京大学准教授 根岸 洋
3	5/19(金)		縄文人の食卓事情 –最新の科学・化学分析をまじえて–	東京都立大学教授 山田 康弘
4	5/26(金)		土偶のミステリー –仮説を立ててみる– **遠隔講義	東京大学名誉教授 設楽 博己
5	6/2(金)		縄文人の一生 –装いの社会的な意義–	東京都立大学教授 山田 康弘
6	6/16(金)		弥生人の祖先はどこから来たのか –DNAで探る– **遠隔講義	国立歴史民俗博物館教授 藤尾 慎一郎
7	6/23(金)		弥生時代の始まりはなぜ500年古くなったのか –炭素年代革命– **遠隔講義	
8	6/30(金)		魏志倭人伝の旅 –狗邪韓国から邪馬台国まで – **遠隔講義	東京大学名誉教授 設楽 博己
9	7/7(金)		東日本の弥生文化 –いくつもの弥生– **遠隔講義	東京大学准教授 根岸 洋
10	7/14(金)		弥生人の食卓事情 –コメの到来とその意味–	東京大学名誉教授 設楽 博己
11	7/21(金)		銅鐸の謎を解く –その先進性と保守性– **遠隔講義	
12	7/28(金)		縄文と弥生を比較する –講座を振り返って–	

連絡
事項

「**遠隔講義」とは講師の先生はご自宅等からオンラインでご講義くださり、会場でご受講の皆様にはスクリーンでご受講いただきます。